新規 SDGs達成に向けた取組みチェックリスト　事業者名：株式会社レッドアップ

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。

（様式第2号）

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み（※事業者が記載する欄）	主なSDGs（17のゴールと169のターゲット）																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有、実践している。	●		経営理念と目標を全社員で共有し、定期的な研修やミーティングを通じて実践しています。これにより、持続可能な農業と地域貢献の意識を高め、SDGsの達成に向けた具体的な行動を促進しています。								8	9								17
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		法令遵守の重要性を全社員に教育し、定期的なチェックリストを導入しています。これにより、法令を確実に遵守する体制を構築し、コンプライアンス意識を浸透させています。																16	
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		不正競争行為に関与しない方針を明確に掲げ、全社員に周知しています。定期的な研修を通じて公正な競争の重要性を教育し、倫理的なビジネス実践を促進しています。										10						16	
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		企業活動が社会や環境に及ぼす影響に対応するため、専任の担当者がおります。定期的な評価を行い、持続可能な運営を推進する体制を整えています。																16	
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		知的財産の保護に向けた取り組みを検討中です。特許や商標の取得を目指し、独自の技術やブランドを守るための体制を整備していく方針です。実施予定時期（2027年11月までに）								8.2 8.3	9							16	
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		ECサイトでの販売をしており、個人情報を厳重に管理しています。最新のセキュリティ対策を導入し、情報漏洩防止に努めることで、お客様の信頼を守っています。																16	
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	●		消費者や投資家などのステークホルダーとの対話を重視し、定期的な意見交換を行っています。これにより、自社の活動がもたらす影響を把握し、適切に対応しています。																16	17
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる。		●						5			8		10		12	13	14	15	16	17
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画（BCP）を策定し、訓練や見直しを行っている。		●										9		11		13.1			16	17
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている		●									8	9								17
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。		●		1	2			5			8				12	13	14	15	16	17
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内で差別や人権侵害がないことを確認している。	●		外国人研修生を含め、性別、国籍、年齢などによる差別を禁止し、ハラスメント防止の研修を実施。相談窓口を設け、社内での人権侵害防止を徹底しています。				4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		業務中の事故防止のため、定期的な安全研修を実施し、適切な保護具の使用を徹底しています。また、作業環境の衛生管理を行い、外国人研修生を含む全従業員の健康と安全を守ります。			3					8.8									
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		雇用形態に関わらず同一労働同一賃金の原則を徹底し、公正な待遇を実現しています。全社員に対し平等な賃金体系を適用し、透明性を持った評価制度を導入しています。					5.5			8.5		10.2 10.3							
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		働き方の見直しを行い、過度な長時間労働を防止しています。柔軟なシフト調整や休暇制度を整備し、社員が家庭と仕事を両立できるワークライフバランスを推進しています。			3		5.5			8.5 8.8		10.3							
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		従業員に対し適切な能力開発と教育訓練の機会を提供しています。定期的な研修やスキルアッププログラムを通じて、専門性を高め、キャリア成長を支援しています。				4	5.5			8	9								
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる。	●		定期的な健康診断の実施や、メンタルヘルスサポートを強化するためのカウンセリングを第3者を通して行っています。仕事と生活のバランスを支援し、柔軟な働き方を促進しています。これにより、従業員の健康と生産性の向上を目指しています。			3					8									17
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		従業員が心身ともに健康を維持できるよう、健康診断やメンタルサポートプログラムを提供しています。これにより、健康的な職場環境を整え、生産性の向上に取組んでいます。				4.4	5.1 5.5			8.5		10.2 10.3						16.7	
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。		●				3					8	9.1		11	12					
	20	【デジタルトランスフォーメーション（DX）の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。		●									8	9.1		11	12					
	21	【ブライト企業】 ・ブライト企業に認定されている。		●				3	4				8	9			12					
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		廃棄物や有害化学物質の適切な管理と処理に取り組んでいます。定期的な廃棄物監査を実施し、リサイクルや適正処理を推進することで、環境汚染の予防に取組んでいます。			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1		
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		電力やガソリンなどのエネルギー使用量を定期的に把握し、削減に取り組んでいます。太陽光パネルなど効率的な設備の導入や省エネ施策を実施し、持続可能な運営を推進しています。							7.3						13				
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		温室内の省エネルギー化を進めるため、太陽光発電システムを導入し、再生可能エネルギーの利用を強化しています。これにより、電力の自給自足率を高め、外部電力への依存を削減しています。また、CO2発生装置を活用し、トマトの成長を促進するために二酸化炭素を供給し、エネルギー効率を高めるとともに温室効果ガスの排出削減に貢献しています。		2.4					7.2 7.3 7.a					12.4	13	14	15		
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境（生物多様性や生態系等）に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		当社は、自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮しています。持続可能な資源利用や自然環境の保護を重視し、地域の生態系への配慮を行っています。						6.6								14	15		
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制（リデュース）、再使用（リユース）、再生利用（リサイクル）に取り組んでいる。	●		ごみを減らし資源を有効に繰り返し使うため、発生抑制（リデュース）、再使用（リユース）、再生利用（リサイクル）に取り組んでいます。これにより、持続可能な資源利用を推進しています。									9.4			12.2 12.4 12.5		14.1	15		
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		熊本の豊かな水資源を守るため、地下水の汚染を防ぐために、農薬や化学肥料の使用を最小限に抑えています。エコファーマーを取得し30％以上、減化学肥料や減化学農薬などを削減することで持続性高い農業に取組んでいます。		2.4				6.1 6.3 6.4 6.6 6.b					11.5			14.1 14.2 14.3	15		17
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる（グリーン購入、リサイクル製品認証等）。	●		環境に配慮した製品の開発・製造に取り組んでいます。リサイクル製品認証を重視し、持続可能な製品ラインを拡充し、環境負荷の低減を図っています。									9.4			12.4 12.5	13	14	15		
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。		●	出荷できないトマトを積極的に加工することで食品ロスの削減に取り組んでいます。廃棄されるはずの食材を有効活用し、持続可能なビジネスモデルを実現しています。	1	2				6.4						12.3		14	15		17
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。		●												11.6 11.7		13.1 13.3		15		17
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善またはや再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。		●								7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5		13.1 13.3				
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・"伐って、使って、植えて、育てる"の持続的な森林利用への取組みを推進している。		●							6			9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。		●							6.1 6.3 6.6					11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。		●													12.2 12.5		14			
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。		●										9.4		11.2		13.1 13.3				
	36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。		●								7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13				17.2
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		製品・サービスの安全性と品質を確保するため、厳格な管理体制を構築しています。定期的な品質検査を実施し、高い基準を維持することで信頼性を確保しています。			3.9						9			12.4					
	38	【ユニバーサルデザイン 】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		障がい者や高齢者に特化せず、誰もが利用しやすい環境整備を行っています。トマトハウスの中は畝を立てない生産方式のバリアフリーを取り入れ、すべてのお客様に快適な体験を提供することを目指しています。									9.1	10	11.7						17
	39	【地域資源】 ・地産地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。		●	地産地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用しています。地域の農家との連携を強化し、地元経済の活性化と新鮮で高品質な製品の提供出来るよう取組んでいます。		2.3 2.4					7.3	8	9		11.a	12.3	13	14	15		17
	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。		●								7					12.2	13.1		15		
	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。		●		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に努めている。		●	地域における産学官連携を強化し、新たな品種開発を促進しています。これにより、農林水産業の生産能力向上を目指し、地域の持続可能な発展に寄与しています。		2.3 2.4						8.2	9.2 9.4		11.a	12.2		14	15		17
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		自治活動や福祉活動、防災活動に積極的に取り組んでいます。寄付やボランティア活動を通じて地域社会への参画を推進し、地域の発展と福祉向上に寄与しています。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	44	【防災、減災、レジリエンス（自助）】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●		過去の地震や水害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めています。社員への防災教育も強化し、備えを整えています。				4							11.5		13.1			16	
	45	【防災、減災、レジリエンス（共助）】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。		●		1.5		3	4						10.2	11.5		13.1			16	17
	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。		●										9		11	12	13.1				
	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。		●		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	48	【インターンシップ等の受入れ】 ・職場体験、インターンシップの受入れ、職場関連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。		●	高校生の園芸科や農大生をファームステイで受け入れ、実践的な農業体験を提供しています。また、農業高校の生徒と共同で商品を開発し、地域の職業教育に貢献しています。				4				8.6		10.2							17
	49	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。		●					4.4				8.5 8.6									17
	50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。		●	ファームステイを通じて子どもたちに農林水産業の教育を行い、農家の日常を体験してもらいます。これにより、地域の従事者確保を目指し、次世代の担い手育成を取組んでいます。		2		4.3 4.4 4.5				8.6		10.2		12	13	14	15		17
			25	25																		

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。